

『^わ環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成 17 年 12 月 8 日	
		作成部署	森林保全課治山担当	
事業名	治山事業(水源流域地域保全)	構想番号	(農・南丹)構17-2	
		地区名	はたごう 畑郷地区	
概算事業費	170,000千円	事業期間	平成18年度 ~ 平成20年度	
事業概要	治山ダム工 8基、森林整備 A=36.8ha			
関連する公共事業	該当なし			
ガイドライン		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
主要な評価の視点				
地球環境・自然環境	地球温暖化 (CO ₂ 排出量等) 地形・地質 物質循環(土砂移動) 野生生物 ・絶滅危惧種 生態系 など	京都府レッドデータブック掲載の「消滅危惧(地形)」である谷中分水界(由良川及び胡麻川の分水嶺)が存在しており、可能な限りその形状を保存する。	治山ダム工の計画により溪床勾配の緩和、山脚の固定を図り、地形の保全・回復を図る。	
	水環境・水循環 大気環境 土壌・地盤環境 騒音・振動 廃棄物・リサイクル 化学物質 粉塵 電磁波・電波・日照 など	町営水道の水源林であるが、森林の荒廃が進んでいる。そのため、森林の健全化を目指し、水源かん養機能の維持を図る。	森林整備によって複層林の誘導を図り、水源かん養機能を高度に発揮させる。	
	景観 里山の保全 地域の文化資産 伝統的行祭事 地域住民との協働 など	農山村景観の重要な要素となっている里山が存在するため、その維持を図る。	木製構造物を採用する等、景観に配慮した計画とする。	
地域の環境像	豊かな自然環境のもと、多様な生物相の要素である里山を維持しつつ、水源かん養及び水土保全機能等が高度に発揮される森林づくりを目指す。			
特記事項	特記事項なし。			

「環境評価」欄には、評価項目ごとの環境配慮の自己評価を記載する。(改善、中立、悪化×)